



# 水田畦畔における難防除雑草 グリホサート抵抗性ネズミムギの防除法を開発

## —ストップ！ネズミムギー

### 開発の背景・ニーズ

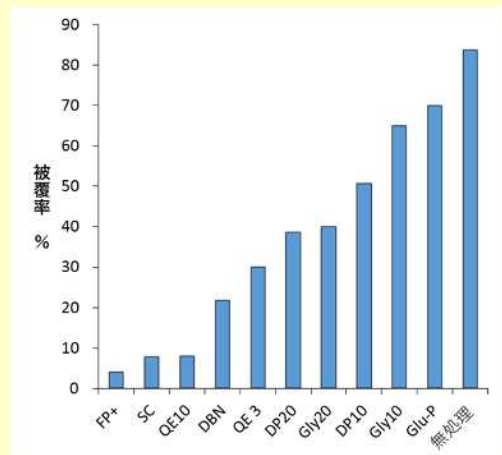
除草剤の種類のひとつであるグリホサート剤を散布しても枯れないネズミムギが、西三河地域の水田畦畔を中心に拡大しつつあります。グリホサート剤は、水田畦畔の省力管理によく使用されているため、大きな問題となっています。ネズミムギは、ほ場内へ侵入すると減収の恐れがあるため、侵入を防止する必要があります。そこで、水田畦畔におけるグリホサート抵抗性ネズミムギの防除法に取り組みました。

### 成果の内容

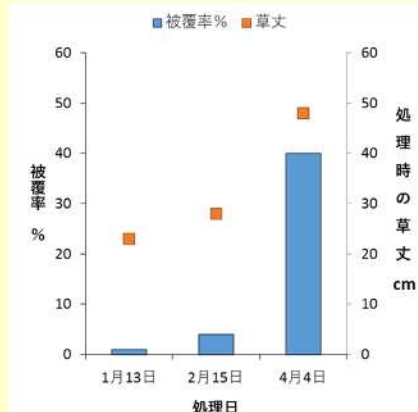
- 水田畦畔に登録のある7つの除草剤のうち、フルアジホップP乳剤が最も高い効果を示しました。
- 効果的な処理時期を検討した結果、フルアジホップP乳剤はネズミムギの草丈が30cm以下となる1月中旬と2月中旬処理が高い効果を示しました。
- フルアジホップP乳剤を処理することで、ネズミムギ種子の畦畔土壌への供給を著しく減少させることができ、翌年の発生を抑えることができます。

供試薬剤と使用量

区名	剤名	10aの使用量（散布液量）
FP+	フルアジホップP乳剤	400ml(100L)
SC	塩素酸ナトリウム水溶剤	15kg(100L)
QE10	キザロホップエチルフロアブル	1000ml(100L)
DBN	DBN粒剤4.5	8kg
QE3	キザロホップエチルフロアブル	300ml(100L)
DP20	ジクワット・パラコート液剤	2000ml(150L)
Gly20	グリホサートカリウム塩液剤	2000ml(100L)
DP10	ジクワット・パラコート液剤	1000ml(100L)
Gly10	グリホサートカリウム塩液剤	1000ml(100L)
Glu-P	グルホシネートPナトリウム塩	1000ml(100L)



供試除草剤によるネズミムギの被覆率



フルアジホップP乳剤の処理日及び処理時におけるネズミムギの草丈及び被覆率



フルアジホップP乳剤を処理した水田畦畔（左）と無処理の水田畦畔（右）

### 愛知県農業への貢献

水田畦畔におけるグリホサート抵抗性ネズミムギを省力的に防除することができます。また、グリホサート抵抗性ネズミムギの拡大防止に寄与することができます。

【本研究は、公益財団法人日本植物調節剤研究協会「植物調節剤の研究開発事業に係わる試験研究課題」で実施した成果です】